



今月の主な内容

町長に山本賢一氏が再選…… 2
新年交賀会で07年を展望… 3
町農業委員会だより…………… 6～7
町職員の給与を公表…………… 8～9

男の子はおじいちゃんにこま回しやメンコのコツを聞き、女の子はおばあちゃんからおはじきやお手玉を教わる姿が微笑ましい世代交流会。一番の盛り上がりは、きねとうすでつく餅つき大会で、“ペッタン、ペッタン”と餅をつく音と「よいしょっ」の掛け声がこだまし、立ち上る湯気も手伝い寒さを忘れたように楽しんでいました。

（写真は、1月14日向川原公民館で行われた3世代交流会での餅つき）

軽米町長選挙で山本賢一氏が無投票再選

山本町政2期目がスタート

任期満了に伴う町長選挙が一月十六日に告示され、現職の山本賢一氏（向川原、五十歳）は無所属以外に立候補の届け出がなく、山本氏が無投票での再選を果たしました。



久保委員長から当選証書を手渡される山本町長（左）

た。町長選挙での無投票当選は、平成十二年五月以来で、昭和三十年の町村合併以後では三回目となります。

当選証書の付与式は、一月二十三日に町役場で行われ、久保政樹町選挙管理委員会委員長から山本氏に、当選証書が交付されました。

任期は、平成十九年二月二日から二十三年二月一日までの四年間。一月十五日現在の有権者数は、九千三百九十人（男四百七十八人、女四千八百十二人）でした。

産業振興と教育・福祉の充実に向け 協働・参画の実現と行革にまい進



【山本賢一氏の略歴】

卒業。二経農療に原部、合を部畜診に向川学から、組合平選。向川学協共組手家成。大農成10年二戸平。当選。52歳。岩手米農成10年二戸平。当選。52歳。旧軽米農成10年二戸平。当選。52歳。旧軽米農成10年二戸平。当選。52歳。

町長二期目を務めるにあたり私の決意を申し上げます。

一期四年間の取り組みを基盤に、次の五つの項目を柱として、引き続き協働・参画の町づくりを進めて参ります。

流通体制・生産の団地化で産業振興

一つ目は、農林業の活性化

です。地球規模での食糧難、国内では食糧自給率の低下など食糧を取り巻く問題が山積する中、町の基幹産業である農林業の振興は、町の将来を左右する重要課題と考えております。雑穀や畑作など特色ある農産物の生産拡大に取り組みながら、商品の付加価値を高める加工技術の導入や、

安全で安心な農産物の生産地として消費者と連携した流通体制を確立し、実感のある所得向上に繋がりたいと考えております。

また畜産分野では、繁殖牛の安定的な供給をめざしたキヤトルセンター（預託牛施設）の整備を進めるほか、野菜栽培の団地化など総合的な活性化を図って参ります。

40万人交流人口を 産業振興に繋げる

次に商工業の活性化です。昨年オープンした町物産交流館を核施設とした賑わいの創出に取り組み、現在整備を進めている中心商店街の歩道のバリアフリー化と合わせて、人が集まり活気みなぎる商店街をめざします。

昨年取得した構造改革特区の活用など、岩手県北・青森県八戸地域を含めた四十万人の交流人口を、観光・雇用・産業振興に結びつけたいと考えております。

介護予防の充実と 子育て対策に重点

三つ目は、少子高齢化対

策と福祉の充実です。いつまでも健康で暮らせるための、介護予防事業を充実させながら、スポーツを通じた健康づくりなどを進めます。

教育環境の充実に 地域と取り組む

四つ目に、教育と人材育成の充実です。未来を担う子どもたちは町の宝であります。将来への希望と夢を抱ける教育環境の充実を優先課題とし、地域の皆さんとともに子

どもたちを育てる環境づくりを進めたいと考えています。

行革の継続実施と 行政サービスの充実

五つ目は、行政改革の断行です。一期四年間の実績に加え、更なる改革を進めながら町財政の安定を確かなものとし、町民の皆さまへの行政サ

ービスの向上に継続して取り組み参ります。

以上が町づくりの大きな柱ですが、原動力となるのは町民の皆さまからのご意見（お知恵）と、共に考え行動を起こす行動力です。協働・参画による町づくりを根底に据えながら、町政執行にまい進して参ります。

【町職員の異動】

（平成19年1月1日付、敬称略、カッコ内は前職）
▼健康福祉課長兼健康ふれあいセンター所長 平内和男（健康福祉課長）
▽退職（平成18年12月31日付）健康ふれあいセンター所長 前田泰穂

新春交賀会で どぶろく特区 元年を祈念

今年はこんな一年にしたい！

二〇〇七年の まちづくりを展望



雑穀を使った料理を味わいながら開催された交賀会

平成十九年の幕開けを飾る新春まちづくり交賀会（町生涯学習推進本部主催）が一月五日に瀧村屋で開催され、約百二十人の参加者が一年の抱負を語り合いました。

冒頭では、平成十七年度小中学生の生涯学習作文コンクール・小学生の部で最優秀賞を受賞した梅木大幹くん（米田小六年）が「ぼくが町長になったら」と題して、雑穀栽培による町産業の振興につい

て発表。会場からは大きな拍手が送られました。

主催者で、同本部長を務める山本賢一町長があいさつで「農業は将来に期待がもてる産業。消費者に安全・安心な農産物を提供していきたい。また昨年取得した『どぶろく特区』も活用し、多くの要望・意見を取り入れながら更に魅力ある町づくりを進めたい」と今年の抱負を話しました。

交賀会では、JA北いわてで取り組む雑穀戦略についてと、町ミレットアグリ文化再生特区（通称「どぶろく特区」）認定までの経緯と今後の取り組みなどについての説

「ぼくが町長だったら」【梅木大幹くん】※抜粋



ぼくが町長になったら、雑穀の缶詰を作りたいです。軽米で栽培が盛んな雑穀は体にも良く、ぼくの家のご飯にもモチキビが入っています。

雑穀は、調理が面倒なところが欠点なので、フタを開ければご飯や味噌汁、おかずに混ぜることが出来る缶詰をつくり特産品にしたいです。缶詰工場も建て、働く場所も作りたいです。

雑穀の栽培と加工が盛んで、地元の人たちが働く場のたくさんある町。何よりも、みんなが助け合って生きていく町にしたいです。

年に大きな期待を寄せていました。

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

振り込め詐欺(恐喝)の被害を防ごう



振り込め詐欺の手口が、新しくそして巧妙になってきており、依然として被害者が出ています。次のことに十分に注意しましょう。

●安易に支払いをしない

電話だけの話でお金を振り込むことは危険です。必ず誰かに相談してからにしましょう。最近では、1回目の電話で「電話番号が変わったから」などと言って信用させ、別の日に再度電話を掛けてお金を要求する手口が増えています。

●相手と不用意に連絡をとらない

請求相手に、自分から不用意に連絡してはいけません。電話番号などを相手が知り、請求行為がエスカレートすることがあります。

●個人情報教えない

個人情報（氏名・住所・勤め先・家族・メールアドレスなど）を教えるのは絶対にやめましょう。

●不安なときは相談しましょう

身に覚えの無いハガキなどが届いて対応に困ったり、不安なときは最寄りの駐在所または二戸地方振興局消費相談室（☎23-9201）までご相談ください。

12月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は1月からの合計

▶市内の交通事故

	当月（累計）	昨年比
人身事故	0件（19件）	+7
死亡者	0人（1人）	±0
負傷者	0人（30人）	+17
物損事故	24件（121件）	-20

▶救急車の出動回数

31回（352回） +19

▶飲酒運転検挙者はありません



雪の無い穏やかな天候のもと開催された2007年の出初め式で敬礼する町消防団員

町消防団（増尾俊一団長、団員四百三十七人）の平成十九年出初め式が一月三日、団員二百九十一人と町婦人消

防協力隊連絡協議会（松浦ちか子会長）から隊員十八人が参加して行われました。式典に先立ち、統監の山本賢一町長と二戸消防署軽米分署の田村利明分署長、増尾団長、団幹部ら二十人が軽米八幡宮を訪れ、町の安全と団員の無事故を祈願しました。出初め式は役場駐車場で開催され、増尾団長が「消防団の役割は火災防御に加え、自然災害への対応など重要



チャンスを逃さずスマッシュを決める！

各トーナメントの優勝チーム

【チャンピオン】
A：笹高
B：観東北A
【チャレンジ】
A：河南
B：向川原子ども会
【ほのぼの】
A：雪谷川A
B：車門

ムは次のとおりです。

各トーナメントの優勝チームは次のとおりです。

二百五十人が参加して町民体育館で開催されました。大会は、予選順位に従いチャンピオン、チャレンジ、ほのぼのの三つの決勝トーナメントに分かれて、熱戦を展開。ポイントを獲得するたびに会場内には父母らの応援がこだまし、熱気に包まれていました。

スマッシュNo.1

町子ども会卓球大会に250人が参加

第三十六回町子ども会卓球大会が一月七日、町内各地区から三十四チーム、およそ

無災害の一年を誓う

二〇〇七年消防団出初め式

町消防団（増尾俊一団長、団員四百三十七人）の平成十九年出初め式が一月三日、団員二百九十一人と町婦人消

防協力隊連絡協議会（松浦ちか子会長）から隊員十八人が参加して行われました。

式典に先立ち、統監の山本

賢一町長と二戸消防署

軽米分署の田村利明分

署長、増尾団長、団幹

部ら二十人が軽米八幡

宮を訪れ、町の安全と

団員の無事故を祈願し

ました。

出初め式は役場駐車

場で開催され、増尾団

長が「消防団の役割は

火災防御に加え、自然

災害への対応など重要

心かよう指導でみんなの夢を実現させる



肩への負担がかからない投球フォームについて、実技を交えてわかりやすく指導する講師の清水さん（左）

第一回町小中学生野球フォーラム（軽米町の野球を強くする会主催）が一月二十七日、軽米中学校を会場に開催され、スポーツ少年団や部活動で将来の甲子園球児を夢見る町内の小中学生九十人と指導者三十人が参加しました。講師には、野球の名門・早稲田大学と株式会社熊谷組で主将を経験し、現在は日本オリンピック委員会野球競技の強化スタッフなどを務める清水隆一さんを招いて、選手への実技指導から、指導者にはコミュニケーションを中心と

夢の甲子園出場をめざし 総合育成プロジェクトが始動

したコーチング方法を紹介しました。

実技指導では、球を捕る、投げる、打つ際の五つの基本についてわかりやすく説明。選手たちは納得した表情で熱心に指導を受けていました。続く指導者を対象にしたコーチング学習会では、選手の自発的な行動を引き出すため



指導者への講習会では相手の心をつかむ会話の仕方などを学びました

て日本一シンプルに教えた。毎日継続して練習してくれば、次回の指導のときにもスムーズに対応できるはず。また町全体で野球を強くしたいとの一生懸命さを感じた。近いうちに一緒に夢を達成したい」と話し、次回の指導を心待ちにしていました。

の会話などコミュニケーションについて実践を交えながら教わりました。

指導を終えた

清水さんは「今

日は基本につい



「猪」年にスタートダッシュ！

第二十一回町元旦マラソン大会（町陸上競技協会主催）が一月一日、ハートフル・スポーツランド内の特設コースで開催されました。穏やかな天候のもと、集まった約七十人は元氣良くスタート。創作太鼓の会「座・宇漢米」の会員も応援に駆けつけ、太鼓のリズムに後押しされながら心地よい汗を流し、今年の初走りを楽しんでいました。



4大会ぶりに優勝した山内チーム（男子）

★男子（参加9チーム）
【Aブロック】①山内（3勝）②上館連合（2勝1敗）
③長倉・駒木（1勝2敗）
【Bブロック】①小玉川（3勝1敗）②笹渡（3勝1敗）
③円子（3勝1敗）
※勝敗数が同じ場合は平均体重の少ない方が上位となる
★女子（参加7チーム）
【Aブロック】①笹渡（3勝）②観音林（2勝1敗）③晴高（1勝2敗）
【Bブロック】①小軽米（2勝）②円子（1勝1敗）③増子内（2敗）

第29回町総体 熱闘綱引競技



第1回大会から18連覇の笹渡チーム（女子）

第二十九回町総体の綱引競技第十八回大会が一月二十八日、男女合わせて十六チームが参加して、町民体育館で行われました。試合は、A・B各ブロックごとに、一本勝負の総当り戦で実施。耐えに耐えての逆転劇など手に汗握る熱戦が展開されると、大きな声援が送られていました。男子のAブロックでは山内が四大大会ぶりに、Bブロックでは小玉川が激戦を制して優勝しました。女子のAブロックは笹渡、Bブロックは小軽米がそれぞれ優勝。笹渡女子チームは、第一回大会からの十八連覇を達成しました。上位結果は次のとおりです。

新しい農業委員が決定 新会長に日山一夫さんを選任

任期満了に伴う町農業委員会委員選挙が平成十八年十二月五日に告示され、十三人が無投票で当選しました。また町議会、北いわて農協、岩手北部農業共済組合、町土地改良区から選任された委員五人を合わせた全十八人が決定。改選後の第一回総会が一月九日に役場で開催され、会長に日山一夫さん、会長職務代理に西館徳松さんをそれぞれ選出しました。

町の農業に 活力を 与えたい



町農業委員会新会長
ひやま かずお
日山一夫さん
(車門、68歳)

このたびの町農業委員の改選に伴い開催された総会において、委員各位のご推挙により選任され、会長職に就任いたしました。

委員各位はもとより、町をはじめ関係機関のご指導とご

支援をいただきながら、積極的に農業委員会活動に取り組んで参ります。

国では「食料・農業・農村基本計画」のもとで、戦後農政の最大の転機といわれる品目横断的経営安定対策などが次々と進められております。農業従事者の高齢化と後継者不足、遊休農地の増加に歯止めをかけ、将来に向けしつかりとした担い手を育成・確保することが緊急の課題であります。

こうした中で、町農業委員会では、昨年、農地実態調査を行い遊休農地の把握に努めたところですが、今後は遊休農地の解消と有効利用のための対策を関係機関と連携を密にしながら強力に推進して参ります。

いま消費者の健康志向の高まりにより、安全・安心な農産物の生産、環境に対する負荷の低減が求められていま

が一体となつて、町の農業に元氣を取り戻すため、農家の皆さんのご理解をいただきながら、その切実な声を行政に反映させるため建議・要望活動を展開して参ります。

今後とも、町農業委員会活動に対するご理解とご支援をよろしく願ひします。

農業者年金に加入しましょう

①農業従事者ならどなたでも加入 できます

年間60日以上農業に従事する国民年金の第1号被保険者で、60歳未満であれば農業者はもちろん、家族農業従事者も加入できます。

②積み立て方式で長期的に安定した 制度です

自ら積み立てる保険料と、運用益により、将来受け取る年金給付額が決まる積み立て方式で、長期的に安定した制度です。

③保険料を自由に選択できます

毎月の保険料は2万円を基本に、最高6万7千円まで千円単位で自由に設定できます。また保険料は

全額、社会保険料控除（所得控除）の対象となります。

④意欲ある担い手に政策支援

認定農業者など一定の要件を備えた意欲ある担い手の皆さんには、政策支援による上乗せを受けた年金（特例付加年金）もあります。

⑤80歳まで保障される終身年金

原則65歳になれば、終身にわたって受給できます。仮に加入者や受給者が80歳の前に亡くなった場合は、死亡した月の翌月から80歳までに受け取るはずの年金額（予定利率で割り戻した額）を死亡一時金として遺族が受け取れます。

年金制度の仕組みとメリット

役職・氏名	年齢	選出区分	行政区	電話番号
会 長				
18 日山 一夫	68	公 選	車 門	46-3271
会長職務代理				
17 西館 徳松	53	公 選	蛇 口	45-2743
委 員				
1 野中 秀男	60	公 選	下円子上組	45-2277
2 内城 正	56	公 選	内 城	47-2603
3 清藤 秀則	47	公 選	河 北	45-2030
4 横島 義男	82	選 任 (農協)	横 枕	47-2610
5 中里 宜博	44	公 選	大 町	46-3537
6 福田 光雄	59	公 選	上野場	47-2305
7 井戸渕春男	48	公 選	屋 敷	45-3661
8 松浦 求	56	選 任 (共済組合)	蜂ヶ塚	45-3602
9 寺澤 正幸	53	公 選	向高家	46-3730
10 鶴飼 榮一	55	公 選	鶴 飼	45-3150
11 古里 典子	60	選 任 (町議会)	下晴山	47-2105
12 内澤 初藏	57	選 任 (土地改良区)	向高家	46-2420
13 中里 照夫	47	公 選	軽米駒木	46-3194
14 明堂 悟	66	公 選	下谷地渡	47-2557
15 小西 寿	50	公 選	駒 板	47-1059
16 久保 満子	62	選 任 (町議会)	仲軽米	46-2446

※表中左欄の番号は委員番号

品目横断的経営安定対策情報

米と大豆の加入手続きが 4月1日から始まります

米、麦、大豆などを対象とした品目横断的経営安定対策が、平成十九年産の作付けから始まります。

そのうち「米」と「大豆」を作付けする農業者の方の加入手続きの受け付けは、本年四月一日からです。

本対策への加入申請など、詳しくは役場・産業振興課までご相談ください。

◇対象農業者

①認定農業者

②集落営農等

(経営面積二〇畝以上)

※規模要件には、物理的制約や所得に応じた特例などもあります

◇対象農産物と対策名

①生産条件不利補正対策
(麦・大豆)

②収入減少影響緩和対策
(米・麦・大豆)

◇米と大豆の加入手続き時期
四月一日～六月三十日

【加入の受け付け・問い合わせ先】
岩手農政事務所 (☎019-624-1125)
同事務所・地域第四課 (☎23-3125)

【町役場内の問い合わせ先】
産業振興課・農政企画グループ
(☎46-4739)

●特別職の報酬等（H 18.4.1現在）

区 分	報酬等月額（減額前の額）	減額率・額	期末手当
町 長	649,140円（698,000円）	7%	6 月期
助 役	532,980円（567,000円）	6%	1.60月分
教育長	522,640円（556,000円）	6%	12月期
議 長	261,000円（270,000円）	9,000円	1.75月分
副議長	218,000円（225,000円）	7,000円	合計
議 員	195,000円（201,000円）	6,000円	
			3.35月分

※平成18年度においては上記のとおり月額報酬から減額し支給されています
※一般職である教育長は参考として掲載

●職員研修の実施状況（平成17年度）

	受講者数	主な研修内容
職場内研修	77人	情報セキュリティ研修、指定管理者制度研修など
派遣研修	32人	県、町村会、二戸地区広域行政事務組合研修

●勤務条件などの状況（平成17年度）

◇勤務時間
週4 0 時間、1 日 8 時間（午前8時30分から午後5時15分まで、休憩時間を除く）

◇年次有給休暇の取得状況（H17.1.1～H17.12.31）

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均取得日数	取得率
4927.4日	1418.6日	124人	11.4日	28.8%

◇その他の休暇
年次有給休暇以外に、病気休暇、特別休暇（夏季休暇、出産休暇、慶弔など）が認められています。

◇育児休業の取得状況
新たに取得した職員はありません。

◇職員の健康管理
全職員を対象とした定期的健康診断、指定年齢健康診断を実施しています。

◇分限処分・懲戒処分の状況	
分 限	1人（病気休職）
懲 戒	0人

●定員適正化計画と年次別の進捗状況（平成18年4月1日現在、削減目標に対する達成率6 0 . 6 %）

区 分	平成15年【基準】	16年【1年目】	17年【2年目】	18年【3年目】	19年【4年目】	20年【5年目】	21年【6年目】	22年【7年目】	目標値（実績計）
減 員【退職】	—	△ 4（△ 4）	△ 8（△ 11）	△ 4（△ 7）	△ 7	△ 10	△ 10	△ 8	△ 51（△ 22）
増 員【採用】	—	0（0）	2（0）	1（2）	2	3	5	5	18（2）
差 引	—	△ 4（△ 4）	△ 6（△ 11）	△ 3（△ 5）	△ 5	△ 7	△ 5	△ 3	△ 33（△ 20）
職員数	198	194（194）	188（183）	185（178）	180	173	168	165	165（178）

（注）表中の（ ）は実績値

●各種手当の支給状況（平成17年度）

期末 勤勉 手当		期末手当	勤勉手当
	6 月期	1.400月分	0.725月分
	12月期	1.600月分	0.725月分
	計	3.000月分	1.450月分

※職務の級等による加算措置（役職加算5～10%）有り

退職 手 当		自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	23.50月分	30.55月分
	勤続25年	33.50月分	41.34月分
	勤続35年	47.50月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分
	1人当たり平均支給額	23,286千円（平成17年度に退職した全職員への支給額の平均）	

通勤手当	①交通機関利用者は運賃相当額（限度70,000円） ②交通用具利用者は2 km以上に2,000円から22,000円の範囲で距離に応じて支給
扶養手当	配偶者：月額13,000円 配偶者以外 ・ 2人まで1人につき6,000円（配偶者のない場合11,000円、配偶者が扶養にならない場合6,500円） ・ 3人目以降5,000円 （15歳～22歳の子の場合には上記に5,000円加算）
住居手当	・持家は3,000円（新築・購入から5年以内に限る） ・ 借家、借間は月額12,000円を超える家賃の額に応じて最高27,000円まで支給
管理職手当	課長級職員へ月額給料に4～5%を乗じた額
休日勤務手当	休日勤務した職員へ1時間当たりの給料単価に25%～50%を乗じた額
日直手当	日直勤務した職員への支給（1回4,200円）

時 間 外 勤務手当	区 分	平成17年度	平成16年度
	支給総額	28,480千円	31,394千円
	職員1人当たり	176千円	183千円

特殊 勤務 手当	支給総額（平成17年度実績）		3,646 千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合		24.7%
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		81,014 円
8種類	徴収手当、防疫作業手当、医師手当、往診手当 特殊自動車運転作業手当、夜間看護手当、用地交渉手当、社会福祉施設勤務手当		

平成18年度のラスパイレス指数

87.0

県内35市町村中34番目
（県内市町村平均94.2）

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の軽米町の水準を表します。
100より大きいと国より給与水準が高く、逆に小さいと低いこととなります。

●一般行政職員の平均給料月額及び平均年齢（H 18.4.1現在）

	平均給料月額	平均年齢
軽米町	339,888 円	46.8 歳
国	328,477 円	40.4 歳
岩手県	351,400 円	42.0 歳

●職種別・学歴別初任給及び経験年数別平均給料月額（H 18.4.1現在）

		初任給	経験10年	経験15年	経験20年
一般行政職	大学卒	170,200 円	254,600 円	301,300 円	330,800 円
	高校卒	138,400 円	228,300 円	268,200 円	304,700 円
労務職	高校卒	135,600 円	203,600 円	236,600 円	262,900 円

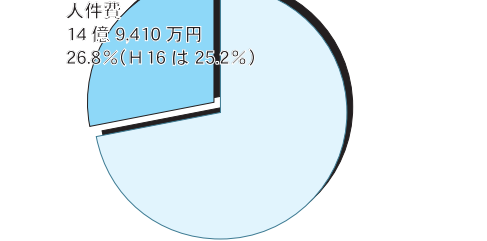
（注）平成18年度においては、厳しい財政状況から上記金額に一般行政職及び医療職は5%、労務職は3%に相当する額をそれぞれ減額して支給しています

●部門別職員数（各年とも4月1日現在）

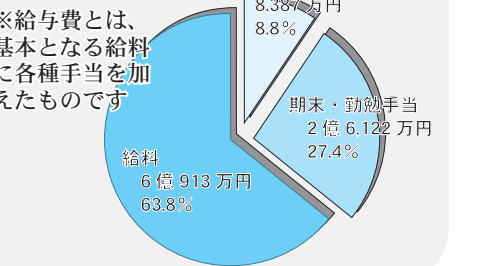
区 分 部 門		職員数			主な増減理由
		H 17	H 18	増減	
一般行政	議 会	3	3		
	総 務	32	30	△2	組織見直しによる減
	税 務	9	9		
	民 生	39	40	+1	地域包括支援センターの設置による増減
	衛 生	10	9	△1	
	農林水産	16	14	△2	業務の移管による減
	商 工	5	4	△1	組織見直しによる減
	土 木	7	9	+2	業務の移管による増
特別行政	小 計	121	118	△3	
	教 育	29	28	△1	組織見直しによる減
普通会計	小 計	29	28	△1	
	計	150	146	△4	
公営企業等会計	水 道	7	6	△1	組織見直しによる減
	そ の 他	26	26		
	小 計	33	32	△1	
合 計		183	178	△5	退職者の不補充

（注）職員数は一般職。地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除く

●人件費（平成17年度普通会計決算）
普通会計歳出総額 55億7,941万円
※住民基本台帳人口（平成18年3月31日現在）11,490人

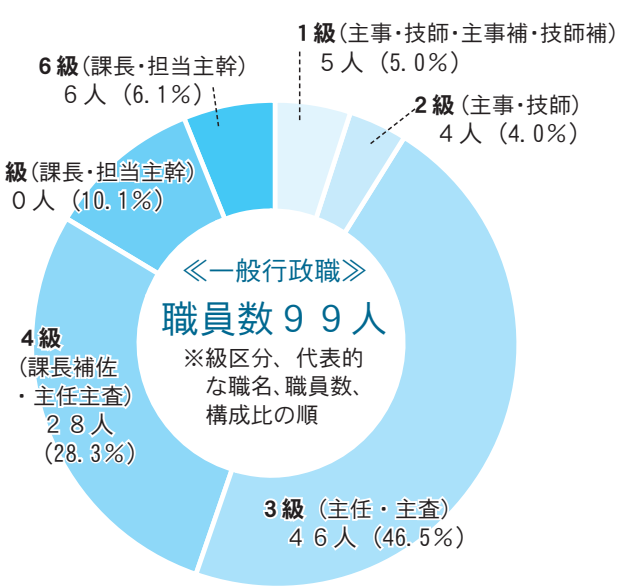


●職員給与費の内訳（平成18年度一般会計当初予算）
・給与費総額 9億5,422万円
・職員1人あたりの給与費636万円（職員数150人）



※給与費とは、基本となる給料に各種手当を加えたものです

●一般行政職の級別職員数の内訳（H 18.4.1現在）



町の福祉や保健、教育、道路の維持管理、産業振興などさまざまな分野の業務を行う町役場には、百七十八人の職員（平成十八年四月一日現在、特別職を除く）が従事し、その給与は町の条例・規則で決められ支給されています。今回は、平成十八年四月一日現在の状況についてお知らせします。

町職員の給与についてお知らせします

手づくり門松で迎えるお正月



製作者の林さん（後列左から2人目）と松田さん（同3人目）を園児が囲んでの記念写真です

小軽米保育園（上澤義雄園長、園児四十七人）に手づくりの門松二対が寄贈され、年の瀬を迎えた十二月二十八日にお披露目が行われました。寄贈したのは、町シルバー人材センター会員の松田義雄さん（下河南）と林政男さん（河北）の二人。一昨年に受講した同センターの門松づくり講習会の成果を生かして、二日ばかりで製作しました。「子どもたちに本物の門松を見せたかった。いつもとは一味違った、お正月気分を感じてほしい」と話していました。

学校問題解決のヒントをつかめ

教師のための生涯学習セミナーが一月十日、役場で開催されました。町内の教職員三十人と岩手大の学生五人が参加。各校の課題や実践事例を情報交換しながら、課題解決への糸口を話し合いました。同大学の新妻二男助教授が「いじめや不登校などの学校問題は、モノが豊かになった一方で心の豊かさが失われたことが背景にある。子どもたちが将来に意欲を抱き、自信を持てる教育方法について学校と親と一緒に考えていくことが必要」と話していました。



岩手大の学生（左）も参加し、各地域それぞれが抱える学校問題の解決策を探りました

食の健康づくりに10人が修了

食生活改善推進員養成教室の閉講式が一月十九日、健康ふれあいセンターで行われ、十人の受講生が修了証を手に入れました。健康の三つの柱である「栄養・運動・休養」や望ましい食生活のあり方などと合わせて献立づくりの基本を学びました。また「家族の体調管理が心配で参加した。皆さんと一緒に学ぶことが楽しかった」などと一年の感想を話していました。今後修了生は、各地区での健康づくりの推進員として活躍が期待されます。



講座を受講した修了生に山本賢一町長から修了証が手渡されました

一年の交通安全を誓う初点検式

町交通指導隊（日山一夫隊長、隊員十三人）の平成十九年初点検式が一月五日、役場前で行われました。点検官の山本賢一町長が隊員手帳の携帯状況、警笛などを点検。日山隊長が「交通事故の重大性を改めて認識し、従来にも増して飲酒運転絶滅と、明るく住みよい町づくりに向け努力します」と今年一年の活動を誓いました。同隊隊員は、学校などでの交通安全教室の開催や、登下校時の街頭での交通安全啓発などに積極的に取り組んでいます。



点検官の山本町長から携行品などの点検を受ける町交通指導隊員

集い憩う施設が増子内に完成



地区民50人あまりが集まって待望の会館の落成を祝いました

増子内農村振興会館が完成し、十二月二十四日に落成式が行われました。県が中山間地域総合整備事業により約四千万円で整備し、二十二日に町へ引き渡されました。同施設は、旧増子内小学校跡地に建物面積二百八十八平方メートルの木造平屋建てで建築。最大で八十畳になる会議室や調理実習室などを備えています。同振興会長の増尾俊一さん（下増子内）は「営農振興はもちろん文化・スポーツ活動、世代交流など幅広く活用したい」と喜びを話していました。

静かなる闘志を駒に込めて

新春小学生将棋大会が一月四日、中央公民館で開催され、六歳から小学六年生までの男女七人が総当たり戦で優勝を争いました。何手か先を読み合いながら、互いに攻め合いを展開。最後の王手を目指して、黙々と駒を進めていました。全勝で優勝した小笠原蓮くん（観音林小三年）は「みんな強かったけど優勝できてうれしい。普段はパソコンの将棋ゲームでやることが多いので、直接対戦できて楽しかった。来年の大会も楽しみ」と喜んでいました。



真剣な表情で将棋盤に向かっていました（写真左は、優勝した小笠原蓮くん）

昭和60年10月31日姉妹提携 音更町だより

1月11日から、音更カーリング場で第26回帯広カーリング選手権が開かれました。トリノ五輪でブームになる以前からの歴史を数える大会。全30チームのうち音更フィールズほか5チームが町内から参加し、13日間にわたり熱戦を繰り広げました。



開会式で行われた始球式から

丈夫に育つ

元気に働く

健やかに老いる

新成人 おとなの記念に 献血を
二十歳を迎えた皆さん成人おめでとう

岩手県内では、1月と2月に「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。今の時期は、インフルエンザの流行や、花粉症などで薬を服用する方が増え、献血への協力が減少するなど輸血用の血液が不足しがちです。

あまり知られていませんが、輸血に使用されている血液のほとんどが400ml献血によるもので、200ml献血は減少しています。理由は、出来るだけ少人数からの血液を確保し、輸血する患者さんへの副作用などの危険性を減らすためです。もし自分や自分の大切な人が輸血を必要としたら、危険性の少ない安全な輸血を誰もが望むのではないのでしょうか。こうしたことから体重が50kg以上など条件を満たす方には、400ml献血をお願いしています。町内では、2月27日（火）に全血献血を実施します。皆様からの温かいご理解と、ご協力をお待ちしています。

◆プロフィール◆
【氏名】
Shawn MacDonald
(ショーン・マクドナルド)
【国籍】カナダ
【生年月日】
1982年6月9日生 24歳
【略歴】
ゲルフ大学卒。2006年
8月3日から町の英語指
導助手。趣味はスキー。



ツヨコツのかるま日記

Angela: Hi Shawn, how was your winter holiday?
アンジェラ：ショーン、冬休みはどうだった？
Shawn: Hey Angela! It was really good, thank you. I hear you went back to Canada for a few weeks?
ショーン：やあ、アンジェラ。とてもいい冬休みだったよ。アンジェラは2〜3週間カナダへ帰って来たんだって？
Angela: Yes, I went home to see my family and friends. I hadn't been home in over a year, so it was really good to see everyone! What did you do for your vacation?
アンジェラ：そう、家族や友人に会いに里帰りしてたの。1年以上も帰ってなかったから、みんなに会えてとても嬉しかったわ。あなたの冬休みは？
Shawn: I ended up traveling to Singapore, Thailand, and Malaysia with a few other ALTs from Iwate for two weeks. Each country was unique and it was interesting to learn about the different cultures. I especially liked Thailand. The beaches were beautiful and the food was amazing! Everything was spicy, my favorite!
ショーン：ぼくは、県内のALT（英語指導助手）のメンバー何人かと、シンガポールにタイ、それにマレーシアを2週間旅行して来たんだ。どの国もユニークで、それぞれの国の文化に触れて楽しかったよ。特にタイが良かったね。海辺はきれいだし、食べ物がこれまた素晴らしくて。どの料理もスパイシーで、ぼくの好物さ。
Angela: Speaking about food... you'll never believe it, but I found nato at a grocery store in Canada while I was home!
アンジェラ：食べ物って言えば・信じないだろうけど、カナダに帰ったとき、食料品店で納豆を売ってるのを見たの。
Shawn: Ha-ha, really? Wow, that's funny!
ショーン：ハハハ、本当？ それっておかしいね。
Angela: Yeah, it's good to know that I won't have to give up eating nato when I leave Japan!
アンジェラ：そう、カナダへ帰ったら、もう二度と納豆は食べられなくなってしまうけど、良かったわ。
Shawn: Well, for me it's safe to say that nato is the one thing I won't miss!
ショーン：ふーん、ぼくにとって納豆は、二度と食べられなくなっても全然困らない唯一の食べ物って言えるんだけど。

「町古文書解説会」



笑顔あつまれ！ みんなの広場

我が家の人気者
すこやかさん



しゅんくんは、いつも明るく、持ち前の陽気さで周りのみんなを元気にしてくれま
す。大好きな絵本も、自分で読めるようにな
った好奇心いっぱいのしゅんくん。次は
何に興味を覚えるのか楽しみです。

おおむら しゅんいちろう
大村 暦一郎 くん（3歳3カ月）
愛称：しゅん
（本町）一徳さん・朋美さんの長男

こもんじょ
古文書で見る
軽米の歴史
76
く名主の勤方く

村方の長を庄屋・名主と言う。古くは、名主になる家筋の者が選ばれた。大金持・大地主でも、その土地の草創期から村の開発に貢献した者でなければ、名主にはなれなかった。
名主の権威は大きく、代々受け継いできたが、百姓のためにならないなどの弊害も出てきたので、

一代限り、一年限りとなる傾向になった。
八戸藩では、目論と言う村方の重立ちの人々の入札（選挙）で三人程選び、代官に届け、代官はその中から人柄、読み書き、算盤などの能力を見て、名主にふさわしい人物を選んだ。名主の任免権は藩にあった。
名主は、権威と由緒ある職であり、藩の百姓支配を助け、年貢の徴収を行う重要な役であったので、藩と村人の信頼の厚い者が選ばれた。八戸藩の場合は、何十年も勤めた名主もある。
村方には、大下書と言って、代官所と村方の取り次ぎをする役目をする者もいた。名主は、課税の元となる地方三帳という郷帳、年貢割付帳、年貢皆済帳を管理保管し、大下書・庄屋・名主勤方定目とともに後任の名主に引き継ぐことになっていた。
（町古文書解説会）

■夢・希望・えんぴつ■

3年間続けた吹奏学部



わたしは三年間、吹奏楽部員として活動してきました。文化祭の吹奏楽部の発表は毎年熱が入り、かなりの盛り上がりを見せます。わたしは、今年の発表が昨年よりも盛り上がるのか心配でした。
吹奏楽部の演奏発表の前、わたしは「最後の文化祭を楽しもう」心に決めていました。まず一曲目に県大会で銀賞を獲得した思い出の曲「パドンヒルの砦」を、そして二曲目に今年初めて挑戦したマーチを演奏しました。三曲目からは、この日のためにみんなで揃えたTシャツに着替え、おなじみのヒット曲を演奏しました。特に盛り上がるのが、体育祭で全校が踊ったときの曲です。全校生徒が立ち上がり、ステージの前で踊ってくれて、昨年以上に盛り上がる事ができたと思

今月の雑穀献立
ヒミコ団子




考案者の
松田昌子さん
(下河南)

【材料】4人分
・煮たアワ、キビ、タカキビ……計100g
・じゃがいも…300g
・小麦粉……大さじ4
・塩コショウ……少々
・片栗粉、油……各適量
《タレ》
・だし汁……200cc
・みりん、濃い口醤油、水……各50cc
・片栗粉……大さじ2
【作り方】
①ジャガイモを煮て、熱いうちにつぶす
②一度煮た雑穀と①に、小麦粉、塩、コショウを加え、粘りが出るまで混ぜる
③一口大の団子にし、片栗粉をまぶして、油で揚げる
④温めたタレに、水溶性片栗粉を入れてとろみを付ける
⑤揚げた団子は2個ずつ串に刺して、④のタレを掛けてできあがり

今月の俳句

北光吟社 十二月例会

三上千栄女
雪の降り明るくなりし里の森
永井きよの
かうかうと白鳥鳴いて過疎の町
中野とき
新切って師走の一日暮れにけり
端川石造
一病をもち相寄れる年忘
松村英子
逢ふ人と交はす言葉に年惜しむ
千葉紅園
八十路坂しみじみ思ふ年の暮
川島由蔵
しずり雪小枝あちこちはねる音
国久黄実
穂やかな初日を拝し恙無し
古里裕子
寄り合いの席にぎやかに寒の入り
早川慶子
大晦日三番目の孫名は春風
洲沢鉄馬

お知らせ 情報 Information

自動車の登録・検査 手続きはお早めに

自動車の登録、検査手続きが毎年3月に集中するため、車検場や手続き窓口がたいへん混みます。車検は、有効期間の満了する1カ月前から受けられます。自動車の登録・検査手続きはできるだけ早めに済ませるようにしましょう。

▶窓口受付時間

▷平日：8:45～12:00、13:00～16:00▷土日祝日：休み

▶自動車登録・検査テレホンサービス ☎050-5540-2010

▶車検予約050-5540-2110
【問い合わせ先】東北運輸局岩手運輸支局（☎050-5540-2010）

県内に就業希望する 医学生を支援します

県では、将来、県内の県・市町村立病院に就業を希望する医学生に、修学資金を貸し付ける制度の申し込みを受け付けています。医師免許取得後、県内の県・市町村立病院で貸付年数と同期間（入学一時金は3年を加算した期間）勤務すると、償還が免除されます。

▶応募資格：将来、医師として



向川原公民館での3世代交流会で「やったーうまく回ったよ！」と喜んだり



見るより実際には難しいお手玉に何度何度も挑戦



外ではきねとうすを使って餅つきに汗をかいて



いただく雑煮は格別な味で、冬休みの楽しい思い出となりました

スポーツ保険で 安心して活動を

運動中やボランティア活動中の事故を補償するスポーツ保険の平成19年度の加入受付を行っています。5人以上のグループ・団体でお申し込みください。

▶保険期間：平成19年4月1日以降の加入日から平成20年3月31日まで

▶年掛金

①A＝500円（子ども会活動、中学生以下のスポーツ活動、成人の文化・ボランティア活動）

②B＝800円（老人クラブ団体）

③C＝1,500円（成人のスポーツ団体）ほか

▶補償限度額

▷活動中の死亡：2,000万円～

▷入院補償日額：4,000円～

【問い合わせ先】町教委・生涯学習グループ（☎46-4744）

ふれあい看護体験 参加希望者を募集

県看護協会では、患者さんとのふれあいを通じて、看護や命への理解と関心を深める「ふれあい看護体験」を実施しています。介護や将来の就職に関心のある方はご参加ください。

▶体験実施期間：5月6日～12

県内の県・市町村立病院に就業希望の方で、平成19年4月現在、大学の医学部に在籍する方

▶募集人数：若干名

▶募集期間：3月1日(木)から29日(木)まで

▶選考方法：書類・面接選考

▶貸付額：月額20万円、入学一時金（私大のみ）760万円

【問い合わせ先】県国民健康保険団体連合会（☎019-623-4324）

フットサル大会の 参加チームを募集

第10回カシオペア連邦フットサル（室内サッカー）大会の参加チームを募集します。職場や友人同士でご参加ください。

▶開催日：3月11日（日）

▶会場：二戸市総合スポーツセンター

▶参加資格：カシオペア連邦内に居住もしくは勤務している方で編成されたチーム

▶参加料：1チーム3,000円

▶申込期限：2月28日(水)必着

【問い合わせ先】二戸地区サッカー協会事務局代行(二戸教育事務所内☎23-9210)

申告書は自分で作成、早めに提出を

【問い合わせ先】
二戸税務署（☎23-2701）

平成18年分の所得税と贈与税の申告と納税期限は3月15日、個人事業者の消費税・地方消費税は4月2日です。早めに準備をしましょう。申告書作成の際は、国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）、または「e-Tax」

（国税電子申告・納税システム）もご利用ください。

【注】定率減税率が変わります

平成18年分の所得税は、定率減税の額が所得税額の10%相当額（上限12万5千円）に引き下げられます。

町税の納期限
（2月28日まで）

固定資産税 4期

国民健康保険税 8期

戸籍の豆知識

郵送による戸籍請求

戸籍は次のように郵送で受け取ることができます。

①便せんなどに現住所、氏名、電話番号、必要な戸籍の本籍、筆頭者、使い道などを書き押印します
②郵便局で、手数料分の定

【問い合わせ先】
役場・町民生活課（☎46-4735）

額小為替証書を購入します
③返信用として自分の住所・氏名を書いた封筒に切手を貼ります

以上3点を同封し役場・町民生活課に請求くださると郵送にてお送りします。

図書館だより — 今月の新刊 —

【児童書】

「100まんびきのねこ」

文・絵：ワンダ・ガアグ



おじいさんとおばあさんはとてもさみしいので、ねこを飼うことにしました。ねこ探しに出かけたおじいさんはたくさんのねこに出会い…

「ペネロペのおかいもの」

文：アン・グッドマン

絵：ゲオルグ・ハレンスレーベン

今日はママとおかいもの。あれれ、ママとはぐれちゃった。どのお店にいったら会えるかなあ？テレビでもおなじみの人気シリーズ。



【一般書】

「わたしの介護ノート」

編：読売新聞社生活情報部



各界で活躍する人たちが体験した家族介護の悩み、苦しみ、喜びなどをストレートに語る。多重介護などへの向き合い方などの情報も満載。

「岩手に残したい食材 30 選」

編：岩手食文化研究会

県内で伝統的に栽培、飼育、採集されている食材30品目について紹介。岩手県の食文化の奥深さを伝える一冊。



図書館ひろば

◎日時：2月24日（土）

10:00～11:00

◎会場：旧生活文化博物館（町立図書館となり）

◎対象：小学生、幼児

皆さんで、お越しください

町のとよみ・かるまいカレンダー

2月 February

16	金	
17	土	
18	日	町総体・卓球競技【体】
19	月	しゃきとクラブ【ふ】 10:00～12:00
20	火	町表彰式【環】 9:30～
21	水	1歳児健診【ふ】 13:00～13:30受付 平成17年10月～18年1月生まれ対象
22	木	うまこ教室【ふ】 9:30～12:00 あのなっす相談所【老】 10:00～15:00
23	金	
24	土	町民スキー教室【安比高原スキー場】 図書館ひろば【図】 10:00～11:00 にこにこ広場【軽米保育園】 9:30～11:30
25	日	夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】～27日
26	月	
27	火	全血献血【県北農業研究所】 10:00～、 【岩手富士】 12:00～、【太陽荘】 14:30～ 二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00～15:00 (予約 ☎23-3111)
28	水	ピヨピヨ教室【ふ】 10:00～12:00 町税の納期（固定資産税4期、国民健康保険税8期）

3月 March

1	木	【春季全国火災予防運動】（～7日） あのなっす相談所【老】 10:00～15:00 しゃきとクラブ【ふ】 13:30～15:30
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	こころの相談【ふ】 14:00～15:30
7	水	乳児健診【ふ】 13:00～13:30受付 平成18年4月、7月、10月、12月生まれ対象
8	木	あのなっす相談所【老】 10:00～15:00 うまこ教室【ふ】 9:30～12:00
9	金	しゃきとクラブ【晴山公民館】 13:30～15:30
10	土	にこにこ広場【軽米保育園】 9:30～11:30 ちびっ子ふれあい広場【老】 9:00～
11	日	
12	月	子どもの発達相談【ふ】 9:30～14:30
13	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00～15:00 (予約 ☎23-3111)
14	水	2歳児健診【ふ】 13:00～13:30受付 平成16年11月～17年2月生まれ対象
15	木	ピヨピヨ教室【ふ】 10:00～12:00 あのなっす相談所【老】 10:00～15:00

（カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します）

体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・スポーツ
ランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行／岩手県軽米町 編集／総務課
（毎月第2水曜日発行）

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

2006年大晦日。笹渡小中学校グラウンドを会場に、年越し花火大会が開催されました。市販の花火とはいえ、ドスンと火花を飛ばしながら30センチぐらいの高さで花開く花火に、集まった地区民約100人からは大きな歓声と拍手が響きわたりました。自前で作った鉄製の釣り鐘で「除夜の鐘」叩きも行われ、新年の訪れを待ちわびていました。



冠婚葬祭 12月届出分

＜敬称略＞

おめでた

すがわら れいん (祐介)
車門 菅原 虹
ふるだて ゆうと (錦之助)
観音林西 古館 悠仁
むらい がくじ (浩和)
下新町 村井 学司
うらべ しほ (誠)
新大島 浦部 志歩
おおとり しんせい (冬樹)
向川原 大鳥 心聖
しば みずき (優樹)
下新町 紫葉 瑞樹
いたばし ふゆき (栄一)
笹渡 板橋 冬幸

おくやみ

蛇口 川口ヨミ (87歳)
萩田 福島清見 (61歳)
大清水 小笠原勝幸 (46歳)
外川目 外川ハツ (96歳)
大沢 志賀小一 (87歳)
大清水 坂下和夫 (54歳)
高家 館下松三郎 (74歳)
外川目 外川末藏 (78歳)
車門 川原木ヤエ (102歳)
下河南 山田ユミ (87歳)

おしあわせに

{ 下向 誠 (笹渡)
河村 睦美 (八戸市)
{ 永井 一也 (君成田)
竹村 幸子 (八戸市)

●人の動き ＜平成18年12月31日現在／町民生活課調べ＞

男 5,619人 (－1) / 女 5,785人 (－18)

合計 11,404人 (－19) / 世帯数 3,758 (－4)

※ () は前月比

転入 10人 (251人) / 転出 25人 (355人)

出生 7人 (68人) / 死亡 11人 (146人)

※ () は1月からの累計

ほとひといき／編集後記

雪の少ない今冬は気温も暖かく、外は歩きやすくてとても便利。一方で近頃、世界各地で異常気象が続発し、温暖化により「地球が悲鳴をあげている」と耳にします。環境保護のため何かを節約・我慢しようとは思うものの継続でき

ない心の弱さ。それならば生活の中で変えらる何かを見つけることが一番と発想を転換。ちょっとしたことでも、始めなければ始まらない。コツコツと無理せず、何かに取り組もうと考えさせられた07年の年初めでした (鶴飼)